

台湾高雄市と経済交流促進



調印書に署名する蒲島郁夫熊本県知事（右）、陳菊高雄市長（中央）、幸山政史熊本市長（左）

熊本県・熊本市



▲高雄市の百貨店で開かれた「熊本フェア」を視察し、「熊本に来てください」と呼びかける蒲島知事



▲台湾で人気の神様キャラクター「電音三太子」（左）と「くまモン」も調印式に駆け付けた

熊本県（蒲島郁夫知事）と熊本市（山政史市長）は9月9日、台湾高雄市内で同市（陳菊市長）との経済交流に関する覚書（MOU）に調印した。

三者は今後、貿易・投資および観光、教育などの分野で相互交流の促進を図っていく。また、航空定期便の就航も視野に協力関係の構築を進めていく。海外の自治体と、県、市の三者間が同時に覚書に調印するのは全国でも初めてのケースとなった。

知事は高雄市内滞在中、同市の百貨店（漢神百貨店）で開かれていた「熊本フェア」の視察や、アジア太平洋都市サミット（APCS）でのプレゼンテーションを行い、熊本を世界にアピールした。

高雄市内は台湾南部に位置する同国第2の都市、人口約280万人、面積約154km²、首都台北市からは台湾高速鉄道（台湾新幹線）で約1時間半。



▲熊本高等専門学校生が開発したソフト「パラパラX」を使って制作する参加者

合志市は8月21日～23日の3日間、包括協定を結ぶNPO法人グランド12と熊本高等専門学校熊本キャンパスの協力のもと、同市内の中学生を対象にアニメ制作ワークショップを開催した。

同市が進めるマンガやアニメを生かしたまちづくりの一環で今年2回目、17人が参加。合志市をPR



漫画家の高浜 寛さん（熊本市在住）



孫 寧平 熊本高等専門学校 教授

中学生が地元PRのアニメCMを制作

する30秒のアニメCMを1人1本ずつ制作した。講師は熊本市在住で漫画家の高浜寛さんやアニメーション制作会社のスタッフら。アニメの制作工程を学び、文字や絵でストーリーを構想し、熊本高等の孫寧平教授と生徒が開発したアニメーション制作ソフト「パラパラX」を使ってアニメCMを制作した。作品は同市のホームページに掲載。民間のCMコンテストへの応募も予定している。



▲アニメCMのストーリー構成を絵に描いて構想を練る参加者



▲天草エアラインの「親子イルカ号」で天草入りした公認サンタクロース

世界サンタクロース会議 in 天草



▶放送作家の小山薫堂さん（左）から参加証を授与



▶日本で唯一の公認サンタ、パラダイス山元さん。イベントを天草に招致した

7日はグリーンランド国際サンタクロース協会の公認サンタクロースら17人が天草エアライン特別便に乗り、天草に到着。約2千人の市民やくまモンらが公認サンタを出迎えた。8日の会議では「禁教の時代もクリスマス祝いを続けたい」ということから天草をサンタの聖地として認定。また、サンタの世界大会（11月にスウェーデンで開催）に出場する日本代表選考会を実施し、県内外から男女34人が出場。出場者はサンタに扮して、障害物競走などでサンタとしての技能を競った。



▲優勝した天草市の若林泰子さん（25歳）